

『ドンサホンダム：メコン地域の魚の回遊・暮らし・健康への被害の可能性』

イアン・ピアード

要旨

現在、メコン河本流のフー・サホン河道に、高さ30～32メートル、総発電量240～360メガワット（MW）の水力発電ダムを建設する計画が進行している。この事業は、ラオスとカンボジアの国境から北に1キロメートルもないラオス南部のチャンパサック県、コーン郡のコーン滝地域に位置することになる。この「ドンサホンダム」については様々な懸念があるが、主なものは、ダムが河川水産資源、特に水生生物多様性と漁業に及ぼす影響である。中でも、回遊魚への影響は強く懸念される。この研究報告書では、ドンサホンダムが魚類と漁業に及ぼす影響を検証するが、とりわけ、ラオスやメコン地域内の近隣国における食料安全・栄養補給・貧困削減など、漁業と関連した影響に焦点を当てる。

数年におよぶ現地調査に基づいた研究結果から、メコン地域全体の重要な漁業を支える様々な種類の魚が、年に何度もコーン滝を通過してメコン河を遡上・遡下し、長期の回遊を行うことが分かった。コーン滝のすぐ上流に暮らす多くの人びとにとっては、捕まえる魚のほとんどは回遊魚の可能性が高く、コーン滝より下流から来た魚である点が明らかである。メコン河のさらに上流でも、特に1年のうち決まった時期には、漁獲高の大部分を、コーン滝を通過して遡上する魚種が占める。チャンパサック県で行った聞き取り調査の結果でも、コーン滝を通過して回遊する魚種が、やはり地元で捕れる魚の大部分を占める。サバナケット県、カンムアン県、ボリカムサイ県、ビエンチャン市などさらに上流でも、漁獲高の中で回遊魚が明らかに大部分を占める。コーン滝を遡上する多くの魚種は、恐らくタイのムン川、ラオスのセドン川やセバンヒエン川など、メコン河の大きな支流にも回遊している。

フー・サホン河道には滝がないため、一年を通して魚が簡単に通ることができる唯一の水路となっている。特に、魚たちにとって乾季の長期の遡上には重要な場所になっている。ほとんどの魚がこのフー・サホン河道を通過しているが、この水路はドンサホンダムにより封鎖されることになるため、上流のラオス北部やタイ北部の漁業に深刻な影響を与える危険性が高い。また、魚がコーン滝より上流で自らのライフサイクルを完結できなくなるため、カンボジアのトンレサップ湖やベトナムのメコンデルタにおける重要な魚類も含めて、ダム下流における魚に深刻な影響が現れる。トンレサップ川およびトンレサップ湖は、カンボジアの最も重要な漁業を支えており、ベトナムのメコンデルタも広大な範囲の漁業を維持している。

したがって、ダムのはるか上流および下流の両方における漁業、そしてそれに依存する人びとの暮らしは、ドンサホンダムによって多大な危険にさらされることになる。さらに、コーン滝上流で失われる可能性のある魚類資源には、地元の人びとの暮らしに欠かせないだけでなく、メコン河流域の生態系全体にとって重要な、非常に多くの魚種が含まれている。こ

れらには、コイ科魚類の*Henicorhynchus lobatus*（ラオス語で「パー・ソイ」、カンボジア/クメール語で「トゥライ・リエル」）があり、多くの捕食魚種やメコン河のイラワジイルカにとって重要な食料源となっている。

ドンサホンダム環境影響評価案では、5つの緩和策が提案されている。しかし、現在の知識や過去の経験から考えると、これらの緩和策は完全に効果的とは言えず、深刻な影響が及ぶ危険性が高い。メコン地域だけでなく世界の魚の回遊に関する記録は非常に乏しく、全ての季節、全ての魚種に合わせた魚道をつくることは、可能であったとしても非常に難しい。加えて、魚道として付近につくられる代替水路はどれもとても狭く、水量が少なくなるため、フー・サホン河道の条件に似せることは不可能である。

結局、ドンサホンダムによって引き起こされるメコン地域の漁業の損失は、漁業に依存して暮らす何百、何千、あるいは何百万もの人びとの栄養状態に悪影響を与える可能性があり、その結果、特にラオス、カンボジア、タイのすでに栄養水準の低い場所に住む人びとの多くに健康の悪化をもたらす。現在脅かされているメコン河での漁業は、メコン地域の人びとの栄養ニーズを満たす点できわめて重要なのだ。ダムの上流、下流の両方において、ダムの近くに暮らすことになる人びとは、遠くに暮らす人びとよりは、一般的に言ってより大きな影響を受けることになる。しかし、ダムが及ぼす影響は、ベトナムのメコンデルタからカンボジアにわたり、タイ、ラオス、そしてラオス南部まで届き、1,000キロメートルをはるかに上回るだろう。

ドンサホンダムの影響力を考えれば、結局この事業によって、特にラオスとカンボジアなどメコン圏の政府は、国連ミレニアム目標の保健分野や各国の貧困削減における目的を達成することがより困難になるだろう。各国政府およびそれらの政府を支援する国際援助機関にとって、ドンサホンダムは大きな懸念材料となるに違いない。

（翻訳 メコン・ウォッチ）

原文：The Don Sahong Dam: Potential Impacts on Regional Fish Migrations, Livelihoods and Human Health by Dr. Ian Baird

http://polisproject.org/PDFs/Baird%202009_Don%20Sahong.pdf